

UPDRS ;パーキンソン病統一スケール

UPDRS その1 精神機能, 行動および気分

1. 知的機能の障害

- 0 なし
- 1 軽度. 健忘が一貫してみられるが, 部分的に思い出す. 他の障害はない.
- 2 中等度の記銘力障害と見当識障害あり. 複雑な問題への対処に中等度の障害.
家庭内でも軽度ながら明らかに障害あり, ときに介助を必要とする.
- 3 重篤な記憶障害と時間と, ときに場所に対する見当識障害. 問題の対処に重篤な障害.
- 4 重篤な記憶障害と見当識は人に対してのみ保たれている. 判断や問題解決は不可能. 身の回りのことにもかなりの介助が必要で, ひとりにしておけない.

2. 思考の障害 (痴呆または薬物中毒による)

- 0 なし
- 1 生々しい夢をみる.
- 2 たちの良い幻覚. 幻覚であることはわかっている.
- 3 時々あるいはしばしば幻覚・妄想があるが病識がない. 日常生活に支障をきたすことあり.
- 4 持続的に幻覚・妄想あるいは病勢盛んな精神病がある. 自分でケアをできない.

3. 抑うつ

- 0 なし
- 1 ときに正常以上の悲しみや罪悪感に悩まされる. 数日や数周続くことはない.
- 2 うつが1週間以上続く
- 3 不眠, 食欲不振, 体重減少, 興味の消失をともなう抑うつ状態.
- 4 上記の症状に自殺念慮あるいは自殺企図をともなう.

4. 意欲・自発性

- 0 正常
- 1 通常より受動的. より消極的.
- 2 選択的活動 (ルーチンでない) を進んでおこなわない. 興味の喪失.
- 3 日々の活動 (ルーチン) を進んでおこなわない. 興味の喪失.
- 4 引きこもり, 意欲の完全な消失.

UPDRS その2 日常生活動作 (on/off時に分けて評価)

5. 会話

- 0 正常
- 1 軽度の障害．理解するのに障害なし．
- 2 中等度の障害．ときどきもう一度くり返すように頼まれる．
- 3 高度の障害．しばしばもう一度くり返すように頼まれる．
- 4 ほとんどの時間，聞き取り不能．

6．唾液

- 0 正常
- 1 口中の唾液が軽度ながら明らかに増加．夜間の流涎をみることあり．
- 2 中等度に唾液が増加．軽度の流涎があることもある．
- 3 著明に唾液が増加．ときに流涎．
- 4 著明に流涎，ティッシュやハンカチをつねに必要とする．

7．嚥下

- 0 正常
- 1 まれにむせる．
- 2 ときどきむせる．
- 3 柔らかい食事にしないとむせる．
- 4 鼻管や胃瘻でチューブフィーディング．

8．書字

- 0 正常
- 1 軽度書字が遅いか字が小さい．
- 2 中等度に遅いか字が小さい．すべての語は読める．
- 3 高度に障害．すべての語が読めるわけではない．
- 4 語の大多数は読めない．

9．食べ物のカット，食器の取り扱い

- 0 正常
- 1 いくらか遅くぎこちないが，助けはいらない．
- 2 遅くぎこちないが，たいていの食餌はカットできる．部分的に介助．
- 3 食べ物は他の人に切ってもらわないといけませんが，ゆっくりと食べられる．
- 4 他人に食べさせられる．

10．着衣

- 0 正常
- 1 いくらか遅いが，介助は要しない．
- 2 ボタンを留める，そでに腕を通すなどで時に介助を要する．
- 3 いくらか自分でできることもあるが，かなり介助が必要．

- 4 自分では何もできない。
- 1 1 . 衛生（入浴・トイレ）
 - 0 正常
 - 1 やや遅いが介助は要しない。
 - 2 シャワーや入浴に介助を要する。とても遅い。
 - 3 洗顔・歯磨き・くし・風呂に行くなど介助を要する。
 - 4 膀胱カテーテル。
- 1 2 . 寝返りおよびシーツをなおす
 - 0 正常
 - 1 すこし遅く、不器用だが、介助は必要ない。
 - 2 ひとりで寝返りをうったりシーツを直せるが、たいへんな努力を要する。
 - 3 寝返りやシーツをなおす動作は始められる。しかし完結できない。
 - 4 自分ではまったくできない。
- 1 3 . 転倒（すくみ現象とは関係なしに）
 - 0 なし
 - 1 まれに転倒
 - 2 時々転倒。平均して一日に一回はない。
 - 3 平均して一日一回転倒。
 - 4 一日数回転倒。
- 1 4 . 歩行中のすくみ
 - 0 なし
 - 1 歩行中にまれにすくみ。歩き始めにすくむことがある。
 - 2 時々歩行中にすくむ。
 - 3 しばしばすくむ。これにより時に転倒する。
 - 4 しばしばすくみ足により転倒する。
- 1 5 . 歩行
 - 0 なし
 - 1 軽度障害。腕の振りが無かったり、足を引きずることがある。
 - 2 中等度障害。しかし介助はほとんどいらぬか不要。
 - 3 高度障害。介助を要する。
 - 4 介助をもってしても歩行不能。
- 1 6 . 振戦
 - 0 ない

- 1 軽度そしてまれにある．患者にとっては煩わしくない．
- 2 中等度．患者は気になる．
- 3 高度．多くの日常生活動作ができない．
- 4 著明．ほとんどの日常生活動作が妨げられる．

17．パーキンソン症候群に関連した感覚障害

- 0 なし
- 1 時々感覚鈍麻，ちくちく，または痛みを感じる．
- 2 しばしば 感覚鈍麻，ちくちく，または痛みを感じる．苦痛ではない．
- 3 しばしば痛みを感じる．
- 4 耐え難い痛み．

UPDRS 3 運動機能検査（on時に検査する）

18．言語

- 0 正常
- 1 表現，用語，and/or 声量の軽度の障害がある．
- 2 中等度の障害．単調で不明瞭だが理解できる．
- 3 著しい障害．理解が困難．
- 4 理解不能

19．顔の表情

- 0 正常
- 1 わずかに表情が乏しい．ポーカーフェイス．
- 2 軽度だがあきらかな表情の減少．
- 3 中等度の表情の乏しさ．口を閉じていないときがある．
- 4 仮面様で，ひどくあるいは完全に表情がない．口は0.6cm 以上開いている．

20．安静時の振戦

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が，時に見られる程度．
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある．または中等度の振幅の振戦がときどきある．
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある．
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある．

21．手の動作時または姿勢時振戦

- 0 ない
- 1 軽度；動作にともなっておこる．
- 2 中等度の振幅；動作にともなっておこる．
- 3 中等度の振幅；動作時，姿勢時におこる．

- 4 著明な振幅．食事が妨げられる．
- 2 2 . 固縮（患者は座位で安静にしている．主要な関節で判断する．歯車現象は無視．）
 - 0 ない
 - 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度．
 - 2 軽度ないし中等度の固縮．
 - 3 高度の固縮．しかし関節可動域は正常．
 - 4 著明な固縮．関節可動域に制限あり．
- 2 3 . 指タップ（親指と示指をなるべく大きく早くタップする．左右は別々に）
 - 0 正常（ $> = 15 / 5$ 秒）
 - 1 すこしおそいか，振幅が減少している．（ $11 - 14 / 5$ 秒）
 - 2 中等度の障害．疲れやすい．ときどき運動が止まることがある．（ $7 - 10 / 5$ 秒）
 - 3 著明な障害．はじめにしばしばすくむ．または運動中にとまる．（ $3 - 6 / 5$ 秒）
 - 4 ほとんどできない．（ $0 - 2 / 5$ 秒）
- 2 4 . 手の動作（できるだけ大きく，すばやく手の開閉をくり返す．左右は別々に）
 - 0 正常
 - 1 すこし遅いか，振幅が小さい．
 - 2 中等度の障害．すぐ疲れてしまう．ときに運動が止まることがあっても良い．
 - 3 著明な障害．しばしば開始時にすくみ，運動がとまる．
 - 4 ほとんどできない．
- 2 5 . 手の回内回外運動．垂直や水平の位置で，できるだけ大きく．左右は別々に．
 - 0 正常
 - 1 すこし遅いか，振幅が小さい．
 - 2 中等度の障害．すぐ疲れてしまう．時に止まっても良い．
 - 3 著明な障害．しばしば開始時にすくむ．あるいは途中で止まる．
 - 4 ほとんどできない．
- 2 6 . 下肢の敏捷性．下肢をあげてかかとで床をタップする．かかとは7.5cm あげる．
 - 0 正常
 - 1 すこし遅いか，振幅が小さい．
 - 2 中等度の障害．すぐ疲れてしまう．時に止まっても良い．
 - 3 著明な障害．しばしば開始時にすくむか運動が止まる．
 - 4 ほとんどできない．
- 2 7 . イスから立ち上がる．（まっすぐの背もたれの木か金属のイス．腕を組んだまま

立ち上がる)

0 正常

1 遅い．または1度でうまく行かないことあり．

2 肘掛けに腕をついて立ち上がる．

3 イスにふたたび倒れ込む．一度ではうまく行かないことあり．介助なしで立ち上がれる．

4 介助なしでは立ち上がれない．

28．姿勢

0 正常

1 軽度の前屈姿勢．高齢者では正常な程度．

2 中等度に前屈姿勢．明らかに異常．すこし左右一方に偏っていても良い．

3 高度に前屈姿勢で，脊柱後彎（亀背）をともなう．中等度に左右一方に偏ってよい．

4 高度の前屈姿勢．姿勢は極端に異常である．

29．歩行

0 正常

1 歩行は緩慢．数歩はひきずり足になる．加速歩行や前方突進はない．

2 歩行は困難をともなう．介助は要しない．加速歩行や数歩の前方突進あり．

3 いちじるしく障害．介助を要する．

4 介助があっても歩行不能．

30．姿勢の安定性．（患者はまっすぐに立ち，開眼し，足はすこし開いて準備する．肩を後方に勢いよく引いて後方突進現象をみる）

0 正常

1 後方突進あり．自分で立ち直れる．

2 姿勢反射がおきない．検者が支えなければ倒れてしまう．

3 きわめて不安定．自然にバランスを失う．

4 介助なしでは立てない．

31．からだの動作緩慢．（動作緩慢，ちゅうちょ，腕の振りの減少，運動の振幅の減少と運動全体の少なさを総合的に評価する）

0 なし

1 わずかに緩慢．ゆっくりとした動作．人によっては正常のこともある．運動の振幅がやや小さいこともある．

2 軽度に動作が緩慢．運動量があきらかに低下している．運動の大きさがやや低下．

3 中等度に動作が緩慢．運動量が低下し，または運動の大きさが低下している．

4 著明に動作が緩慢．運動量の低下．または運動の大きさが低下している．

UPDRS 4 治療の合併症

A. ジスキネジア

3 2 . 持続時間 (起きている時間の何%か)

- 0 なし
- 1 1 - 2 5 %
- 2 2 6 - 5 0 %
- 3 5 1 - 7 5 %
- 4 7 6 - 1 0 0 %

3 3 . ジスキネジアによる障害 .

- 0 なし
- 1 軽度障害
- 2 中等度障害
- 3 重度に障害
- 4 完全な障害 (なにもできない)

3 4 . 痛みをともなうジスキネジア . どのくらい痛いかな .

- 0 なし
- 1 軽度
- 2 中等度
- 3 重度
- 4 著明な障害

3 5 . 早朝のジストニア

- 0 なし
- 1 あり

B. 症状の日内変動

3 6 . 服薬時間から予測可能なオフ期間はあるかな .

- 0 なし
- 1 あり

3 7 . 服薬時間から予測不可能なオフ期間はあるかな .

- 0 なし
- 1 あり

3 8 . とつぜん (数秒以内など) おこるオフ期間はあるかな

- 0 なし

1 あり

39 . 起きている時間の何%が平均してオフ期間か .

0 なし

1 1 - 25 %

2 26 - 50 %

3 51 - 75 %

4 76 - 100 %

C. その他の合併症状

40 . 患者は食欲低下 , 嘔気 , 嘔吐をともなっているか .

0 なし

1 あり

41 . 不眠や眠気があるか .

0 なし

1 あり

42 . 起立性低血圧症状はあるか .

0 なし

1 あり